



# おうち時間に…空間アレンジのすすめ

会員 細沼 萌葉 (72期)

弁護士になって、というより社会人になって気付いたこと。それは、人は、「空間」に知らず知らずのうちに影響を受けているということです。その場所で何をするか、誰と過ごすかも、もちろんとても大事ですが、どのような「空間」に身を置くかということも非常に大事だと感じています。私は、事務所に自分好きなデザインや内装のスペースがあるので、少し寝不足の朝でも、事務所に来てその空間を目にすれば、清々しい気分になります。

そして、おうち時間が長くなった今。自宅の空間も完全に自分好みにアレンジしたいと、試行錯誤を繰り返しています。好みは人それぞれなわけですが、自宅の見慣れた景色に飽きてきた方や、何となく気分転換をしたい方に向けて、私なりの空間アレンジのポイントを簡単にご紹介したいと思います。

## 1 テーマカラーを決める

色の組み合わせだけでなく、バランスまで考えることがポイントです。一般に、

ベースカラー 70%

メインカラー 25%

アクセントカラー 5%

とするとバランスが良く、空間の統一感が出ると言われています。例えば、私の場合は自宅の壁が白なので、ベースカラーを白、メインカラーをベージュ、アクセントカラーを落ち着いた薄いピンクと決め、木材の家具等でベージュを取り入れています。このテーマカラーは、表面積の大きいカーテンやベッドカバー等の色を変えることで簡単に変更できますが、それだけで空間の雰囲気が大きく変わりますので、ぜひお試しください。

## 2 家具や小物の多様な配置を考える、試す

ダイニングテーブルやベッドなど、1番大きな家具の配置を最初に決めるとレイアウトが考えやすくとよく言われます。しかし、そんなことには拘らず、自分がどうしても確保したい空間から考えて、周りの空間もそれと

調和が取れるよう、実際に家具をいろいろな位置に動かしてみるというのが私のお勧めです。

私の場合は、日の光が差し込む空間に最も重きを置いているので、ここから考えます。できれば文字通りの「空間」として存在させたいので、その空間には何も置かず、その近くに最もよく使う家具を置き、残りの空間はこれらの空間と断絶なく緩やかに繋がるよう、家具等を色々なパターンで実際に配置して、決めています。

## 3 他とのバランスを考えて家具を選ぶ

家具選びについては、人によって重視する点が異なると思いますが、材質や色味を可能な限り統一すると、空間にまとまりが出ます。ちなみに、アッシュ材やウォールナット材等の広葉樹の木材は硬くて耐久性が高いため、長年使用したい家具に適し、スギ材やパイン材等の針葉樹の木材は柔らかく軽量のため、頻繁に移動させたい家具や、優しい印象を与えたい場合にお勧めです。

また、空間に奥行きを出したい、もっと広く見せて開放感を出したいとお考えの場合には、全体的に背の低い家具を選ぶと良いです。

## 4 緑を取り入れる

テーマカラーとは別に、植物を置くということも重要なポイントです。私はワイヤープランツの小さな鉢をテーブルの



上に置っていますが、植物は、人工の家具や小物には醸し出せない柔らかく繊細なニュアンスを出してくれるので、小さいものでも、存在しているだけで空間の雰囲気を大きく変えます。

ご関心を持っていただけた方には、まずは1つ取り入れていただき、快適な空間作りの一助となれば幸いです。